

【参考】 便益について（30年間分を算出）

■ 軌道延伸による移動時間短縮便益

- 移動費用について、乗り入れを実施した場合と、乗り入れを実施しない場合の差額を算出。
- 移動費用は、路面電車利用者数に所要時間、時間評価値を乗ずることで算出。

$$\begin{aligned} \text{便益} = & \Sigma (\text{乗り入れ無：路面電車利用者数} \times \text{所要時間} \times \text{時間評価値}) \quad \text{整備前の歩行時間} \\ & - \Sigma \{ (\text{乗り入れ有：路面電車利用者数} \times \text{所要時間} \times \text{時間評価値}) \quad \text{整備後の歩行時間} \\ & + (\text{乗り入れ有：路面電車利用者数} \times \text{岡山駅～岡山駅前電停の乗車時間} \times \text{時間評価値}) \} \quad \text{整備後の乗車時間} \end{aligned}$$

■ 高齢者・障がい者運賃割引による利用者増加分

- 乗り入れ事業完了を前提に、運賃割引を実施した場合の増加需要を予測。

■ 供給者便益

- 供給者利益について、岡山電気軌道株式会社の特許申請による値を計上。